第１回調整部会（平成30年６月22日）における主な意見等

＜参考＞第２回調整部会資料より抜粋

（発言順不同・敬称略）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 大ﾃｰﾏ | 名前 | 意 見 概 要 | 方 向 性 |
| １バリアフリー教育の充実 | 西川 | 障がい当事者の参加を入れてもらいたい | 〇小提案に反映 |
| 河原  鈴木  小堤  小堤 | 医療関係者への働きかけ  医療関係者への働きかけ  学校関係者への働きかけ  バス運転者等、交通事業者への働きかけ | ※文言又は小提案に反映（具体例） |
| 大原 | 対象別でなく地域と一緒にやるという仕掛も必要 | 〇小提案に反映 |
| 野口  桑波田 | インクルーシブ教育という進め方の中でバリアフリーを自然に学ぶ  障がい児と健常児の交流の場が必要 | ※文言又は小提案に反映（進め方）  ※文言又は小提案に反映（進め方） |
| 斉藤 | 活動にあたり地区社協等の地域団体との連携 | 〇小提案に反映 |
| 大原 | 教育者へまとめて情報提供できる仕組み(教材等。情報リソースセンター) | ※文言又は小提案に反映（進め方） |
| 鈴木  中野 | タクシー会社の研修事例紹介  心のバリアフリーに関する研修プログラム紹介 | 〇事例紹介に反映  〇事例紹介に反映 |
| ２多様な人が住まう街への気づき、障がい者理解の推進 | 鈴木  滝澤 | 声かけサポートの広がり  ソフト面の意識改革の必要性 | 〇小提案に反映 |
| 鈴木 | 当事者講師のスキルアップや窓口 | ※文言又は小提案に反映（留意点） |
| 桑波田 | 障がい・高齢等に関わらず相互情報共有 | ※文言又は小提案に反映（進め方） |
| ３安心して出かけられる街の実現を目指して | 河原 | 情報バリアフリーの推進 | 〇中項目に反映 |
| 河原 | 障がい当事者自らによる発信と受信 | 〇小提案に反映 |
| 野口  中野 | 情報提供の強化（タクシー・駅等）  ＩＣＴの活用とバリアフリー | ※文言又は小提案に反映（具体例）  ※文言又は小提案に反映（具体例） |
| ４条例適合率・遵守率向上に向けた取組 | 金子 | 適合率向上の課題 | 〇中取組に反映 |
| 桑波田 | 不要な部分の基準の緩和 | ※文言又は小提案に反映（整備基準） |
| 大原 | 改修・改築事例の増加とバリアフリー化 | 〇中取組に反映 |
| 大原 | 良い事例の共有 | 〇中取組＆小提案に反映 |
| ５施設の計画段階における関係者の参画 | 大原 | 先進事例の共有 | 〇中取組＆小提案に反映 |
| 河原 | 地域における取組のときにも障がい当事者が参加できると良い | ※文言又は小提案に反映（具体例）  →大テーマ２へ |
| 中野 | 当事者参加が条例に書き込んであると良い | ※文言又は小提案に反映（条例ガイドラインを紹介） |
| その他全体事項など | 金子  吉富  斉藤  桑波田 | 地域共生・地域づくりの視点の反映  自分達自身ができることからやってみる  さまざまな人を対象にした福祉の街づくりをとも  に考えるという視点 | ※地域づくりの視点からバリアフリーを包含する形で文言を入れる |
| 中野 | 障がいの社会モデルの位置づけ | ※障がいの社会モデルの視点からバリアフリーを包含する形で文言を入れる |
| 中野 | 東京都障害者差別解消条例について | 〇事例紹介に反映・委員課題提起 |
| 斉藤 | 上手くいかなかった部分の確認 | ※アンケート分析で実施予定 |
| 斉藤 | 意識改善に繋がる先進事例の発信の仕方 | ※文言又は小提案に反映（進め方） |
| 鈴木 | 補助増額の事例あり。補助条件にしてはどうか | 〇事例紹介に反映・委員課題提起 |
| まとめ | 部会長 | 【全　体】   * 基本理念の確認と、基本的な考え方への内容の位置づけが必要   【１：バリアフリー教育の充実】   * バリアフリー教育に関して、学校教育だけでなく、地域の人たちの共感を得るような仕組みという意味では、対象別ではなく、一緒になってやっていくということも必要 * 狭い意味でのバリアフリーではなく、街づくりの中でのバリアフリーや、相互理解、人権の認め合う社会づくりが共生社会を作っていくことになるという意見 * 地域団体との連携が必要という意見   【２：多様な人が住まう「街」への気づき、障がい者理解の推進】   * １と類似する部分が多いため、切り分けるか統合することでも良いのではないか。   【３：安心して出かけられる「街」の実現を目指して】   * 行政情報が得られていない課題 * 情報アクセスだけでなく障がい当事者から情報発信できる仕組みを考える必要性   【４：条例適合率・遵守率向上に向けた取組み】   * 社会情勢等を踏まえた条例見直しや、そのことによる遵守率向上期待に対する意見 * 条例に関して、設計側に認識を深めてもらう必要性 * バリアフリー法改正に関して多くの人にしってもらう   【５：施設の計画段階における関係者の参画】   * 参画の重要性を知ってもらい事例を増やしていくことの必要性 |  |